

# 令和4年度 在宅医療的ケア児支援普及啓発研修 終了報告

【開催日】 令和4年7月8日（金） 13:00～15:00

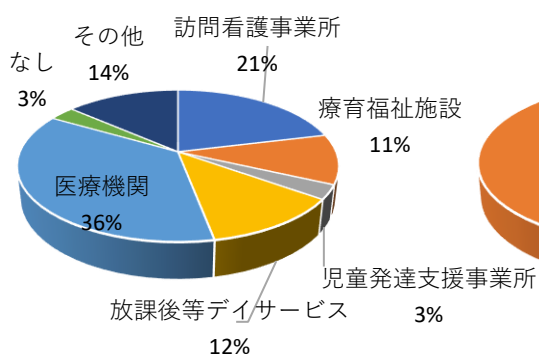
【会場】 リンクステーションホール5階 大会議室

【プログラム】	13:00	行政説明：「青森県における医療的ケア児支援の現状について」 青森県障害福祉課 主幹 岩谷 玲子
	13:25	講義：「医療的ケア児支援の概要について」 青森県小児在宅支援センター センター長 網塚 貴介
	14:00	事例提供：「医療的ケア児支援で活躍する看護職について」 訪問看護ステーションやよい 管理者 齊藤 孝子 放課後等デイサービスセンター花りんご 看護師 葛西 京子
	14:30	質疑応答
	15:00	終了

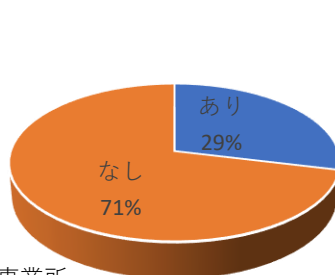
【受講者】 68名

【アンケート】

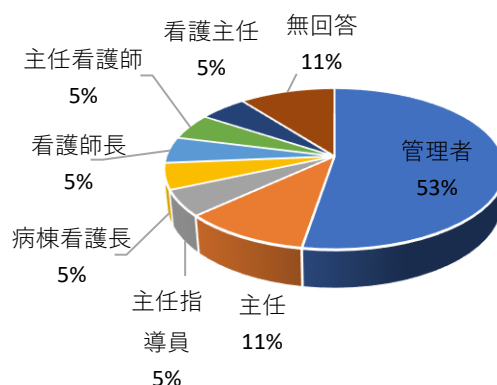
## I. 所属



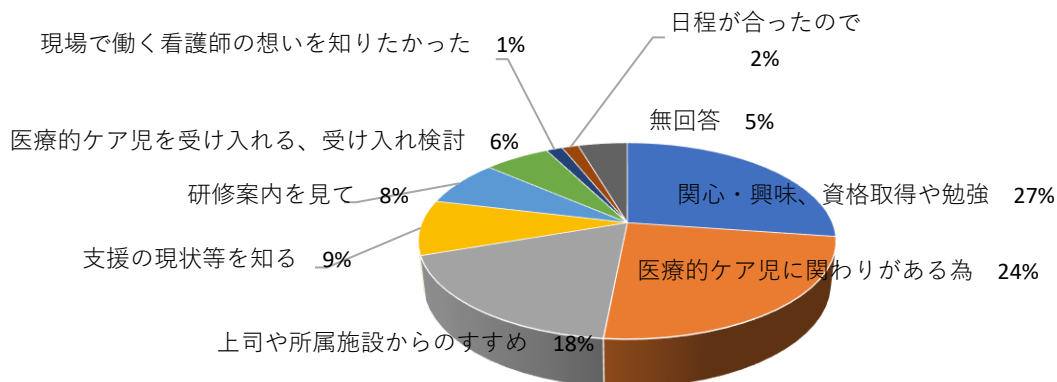
## II. 役職



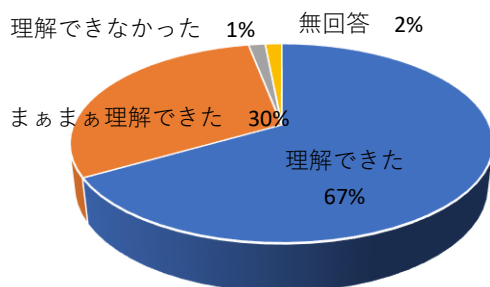
## 役職名



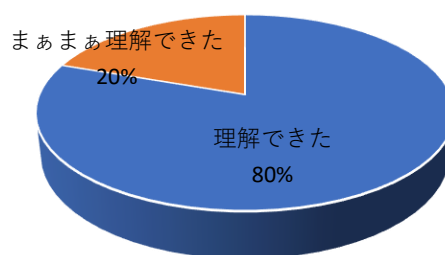
## III. 参加の理由・きっかけ



## IV. 行政説明について



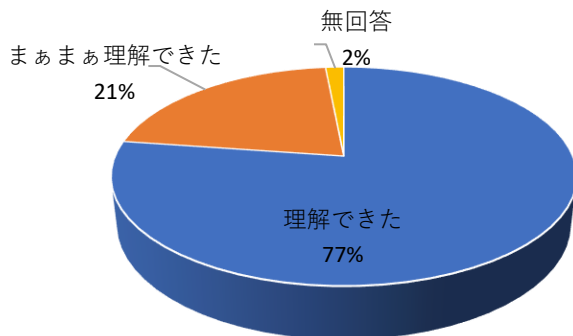
## V. 講義について



- ・小児在宅支援センターの役割や県内の状況について知ることが出来た。
- ・説明がわかりやすかった。
- ・取り組みや現状・課題などが把握出来た。
- ・連携の大切さを実感した。

- ・青森県の医ケア児に必要な支援のヒントとなった。
- ・自分の仕事について考えるきっかけになった。
- ・支援者の支援体制が手厚い印象を受け、心強いと感じた。
- ・今後も学習が必要だと感じた。
- ・もっと詳しく聞きたかった。

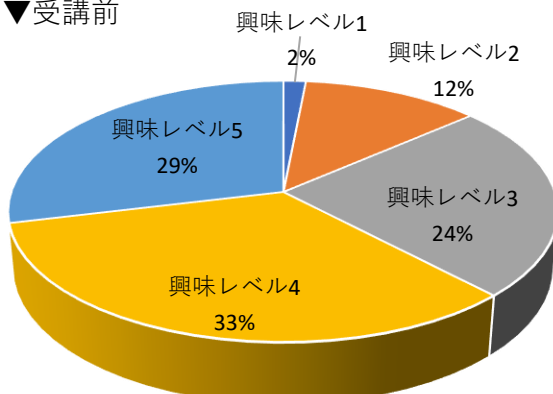
#### VI. 医療的ケア児支援で働く看護職についての事例について



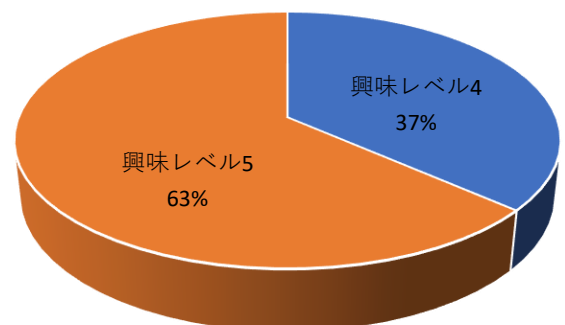
- ・現場の様子や看護職の役割を知ることが出来た。
- ・同じ業種の看護師の思いを聞く事が出来て良かった。
- ・多職種・多機関と連携をとっていることが分かった。
- ・とても大変で重要な領域だと感じた。
- ・スキルやケア方法をどのように学べたか聞くことができた。
- ・数年後の成長を見据えたケアを行っているのはすごいと思った。
- ・とてもわかりやすかった。
- ・他業種の内容や動きを知ることが出来た。
- ・花りんごさんの話がとても心強かった。自分にもできるかな？と思えるようになった。
- ・家族の支援が重要であると感じた。
- ・もっと詳しく聞きたかった。
- ・実際に在宅の児をみる事が出来るので、在宅時に必要な介入が何かを違う視点から考えられるのだろうと思った。
- ・看護師の活躍できる場を知ることができた。
- ・困難事例に対する対応は分かったが、どのくらい困難か知りたい。家族支援の難しさ等も不安。
- ・他の事業所の例も知りたい。

#### VII. 医療的ケア児支援についての興味・関心について、受講前後の変化

▼受講前



▽受講後



#### VIII. 次回研修のテーマ・内容の希望

- ・各事業所の具体的事例（小児訪問を始めたきっかけ、在宅移行の際の支援内容や困難例等）
- ・医療的ケア児のリハビリや、在宅看護に必要なスキル・手技について。
- ・医療的ケア児や家族との関わり、在宅生活における事例検討や今後の課題について。
- ・医療的行為の家族への指導方法等や、専門職以外の人への初歩的な説明など。
- ・医療的ケア児の家族や当事者の話を聞いてみたい。

- ・医療的ケア児支援における訪問看護の役割や実際の動きなど。
- ・学校看護師さんの話が聞きたい。
- ・身寄りのない独居の方の支援や意支決定について。
- ・余暇活動で寝て過ごす事が多い医療的ケア児たちとの医療的ケア以外での関わり方について。
- ・高校を卒業してからの医療的ケア児の受け入れ等について。
- ・シミュレーション等の実技で経験を積みたい。
- ・事例を通しての病態生理や解剖生理等。  
(今回の教材は病名等がさらっとしていたので、マニアックな所まで知りたい)
- ・看護師として地域で働くには何処にどう動けばいいのか、  
具体的なところが分かれば興味がある人の一步に繋がると思う。
- ・現在の施設の状況、職員募集状況。
- ・どんな内容でも勉強になるので、たくさん開催してほしい。

#### IX. その他感想・ご意見等

- ・とても励みになった。青森県の現状や、色々な支援の仕方などを知るいい機会になった。
- ・今後もこういった研修会や勉強会に参加したい。
- ・研修の開催回数や開催場所（弘前、八戸等）を増やしてほしい。
- ・コロナが蔓延して、リモートの研修がほとんどだったので、対面での研修でとてもよかった。
- ・保育士NSと支援学校NSとの交流の場に、放デイNSも入ってはどうか。  
放デイNSと支援学校NSとの交流の場もあるといいと思う。
- ・岩谷さんの説明時間が残っていたので、もう少し詳しく話して頂いても良かったのでは？  
法律のところは難しかった。
- ・特に齊藤さんのお話に感銘を受けた。
- ・今後、医療的ケア児の受け入れ依頼が来た際には、ぜひ前向きに検討したいと思った。
- ・医療的ケア児が各市町村にいること、ケアを必要としていてもそこに施設がないことで  
困っていると感じた。訪問看護などで介入していくことに携わってみたいと思った。
- ・看護師として、病院だけでなく様々な場所で働ける、役に立てる可能性があるんだなと思った。
- ・医療的ケア児の受け入れはまだ困難なように思うが、今後実現へ向けて努めたい。
- ・制度の設計がどのようになっているのか、装具や小児特定慢性疾患医療費助成等、  
経済的なところを知りたい。
- ・保護者の方々の具体的な工夫やグッズをシェア出来る仕組みがあるといいと思う。
- ・関わる事業所が情報共有出来る仕組みがあればいいと思う。カナミック（介護ソフト）のような。
- ・クリニック、病院、学校、保育施設など連携機関内で2～3日ほど研修・見学・体験が出来れば、  
それぞれの細かな役割など理解を深められるのではないかな。
- ・基本的なところがわかって良かった。  
人員不足、受け入れ施設が少ないことが良く分かったが、そこで止まっている印象。  
小児に関わるサポートがどこまでされるか、実際自分が働くイメージには繋がらなかった。  
最後の質疑応答がすごく為になった。
- ・どの職種がどの程度いたのか知りたかった。
- ・教育委員会の方は医療的ケア児についてどう思っているのか気になる。

